



県内初の災害用トイレカーを導入 安心・清潔なトイレ環境を

宗像市は「安心して暮らせる災害に強いまち」を重点として取り組んでおり、移動式排水ポンプの導入など災害に備えた施策を行っています。

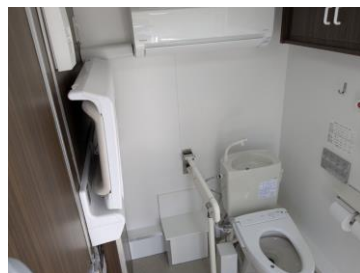
この度、大規模災害時にも清潔で安心して使用できるトイレ環境を確保するため、県内の自治体では初の自走式の災害用トイレカーを導入しました。

過去、大規模災害が発生した地域では、トイレが流れないまま使い続けた結果、劣悪なトイレ環境となり、利用を控えた避難者が体調を崩したという事例が報告されています。トイレカーの設備は、オストメイトやオムツ台、車いす用リフトがあり、バリアフリーにも配慮した水洗トイレです。

お披露目会では、普段使うトイレと変わらない快適さをご覧ください。



《大人気「宗像のテンちゃん」ラッピング》



《バリアフリー対応トイレ》

【お披露目会】

- ◆日 時：10月30日（木）10時45分～
- ◆場 所：宗像市役所 南館横駐車場
- ◆参加者：宗像市長 伊豆 美沙子、テンちゃんも来ます♪
- ◆内 容：トイレカーお披露目、設備紹介、車イス用リフトデモ

【トイレカー概要】

- ・事業費 約 23,000,000 円
- ・大便器 5 基、小便器 1 基、オストメイト、オムツ台、車イス用リフト
- ・汚水タンク容量 960L（約 1,000 回分、汲取り式）
- ・上水タンク容量 700L（プール等から浄水器による注水が可能）

【今後の取組】

- ・トイレカー導入済の他市町村と相互の応援協定を締結
- ・国の災害対応車両へ登録
- ・イベント時の活用による防災啓発（宗像フェスで臨時トイレとして設置し、啓発）

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は事前にご連絡ください。
宗像市危機管理課 担当：川端 TEL:0940-36-5050